

既存の福祉制度からこぼれた人を受け入れ

「緊急一時支援」

全国ネット発足

仙台などの8団体参加



オンラインで開かれたシンポジウムに参加する関係者ら
=6日、仙台市壹葉区

年に火事で焼け出された高齢女性の宿泊を引き受けたのを機に、生活が困難な人のをいつでも受け入れる。CLCの高橋佳恵参事は、「どの団体も運営が厳しい。どういう補助事業や制度を活用すればいいのか情報交換もしてみたい」と話す。

原生学園は北埼玉生産性推進室の南雲徳長室長も登壇し、各政策によって救える対象者を広げる必要性を認めた上で「行政としても緊急一時支援と連携し、各制度から抜け落ちる人が出ない社会づくりに努力したい」と述べた。

れ施設「国見・千代田のより処ひなたぼっこ」を運営するNPO法人「全国ミユ二ニティライフサポートセンター（CLC）」（青葉区）が担う。既存制度の多くは、要介護者や障害者、女性、子ども、困窮者ら属性ごとに对象者が分かれる。各地のサポート付きシェアハウスや介護施設などが、制度のはざまで支援対象になりにくく、人間に宿泊を伴う緊急時支援に取り組んでいる。近年、団体間で意見交換を重ねてきた。

一人で、住居を失った人向けのシェルターを営む「コミニュニティワーク研究実践センター」（札幌市）の連携組織の代表世話人の湯沢真吾事務局長は、「ドミティックバイオレンス（DV）や虐待を受け、他地域に逃げることを希望する人もいる。連携で支援の幅が広がる」と話す。

オンラインで6日に開かれたシンポジウムには、全国の福祉関係者ら約300人が参加した。

運営ノウハウ共有活動支え合う

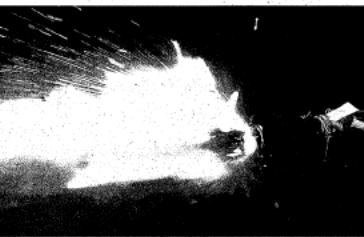
顯示している品では、粒度が原因の事故も目立つという。

結婚してからも夫婦共通の趣味は温泉巡り。とりわけ湯けり湯に目がない。運よく仙台行きの航空チケットを手に入れ、初めて宮城県大崎市の鳴子温泉郷の宿へ行くことになった。

おばあちゃんのおもてなし

角田 昌子

バッテリーや照明器具から発火



安すぎるネット通販家電に注意

電動工具用バッテリーを充電中に出火した24年3月の事故では、過充電が起きても検知できない構造だため、異常発熱に至り火災が出たと考えられるという。

を利用する際に気を付ける
点として、極端に安価な製品は安全性を保つための
費用をかけしていない恐れがあると指摘。【高評価の「
ヨミがやらせではないか」】
業者の連絡先が実在する
(N-1) 提供のX線画像)



粗悪な海外製品で多発

かなどを確認するが、外國の業者が直接販売している製品の中には、必要な検査をしていないのに、技術基準を満たすことを示す「PSマーク」を付けている例もあるという。一部の大手インターネットモールでは、海外業者が直接販売している製品かどうか分かりにくい場合があることにも注意が必要だ。

政府は法改正を行い、問題がある製品の出品削除に要請できるようにする規定などを追加した。改正法は12月から施行される。

友人と待ち合わせのため、久しぶりに
バスに乗った。バスが停留所に止まるごとに
「お待たせいたしました。」このバスは○
○経由××行きです。お足元に気を付け
て△△乗車ください。発車します。」「わ
ー、声優さんみたい！」女性運転手さん
のとてもすてきな声が車内に流れた。
透明感があり、何てきれいな声だろ。
もうそれだけで今日は運がいいぞと思つ
た。乗車中も「次は△△です。右に曲が
ります。△△注意ください」。うつとり聞
きほれ正在と「△△のバスは指定時刻よ
り遅れており、△△迷惑をおかけして申し
訳ございません」とアナウンスが流れた。

加藤美紀代